
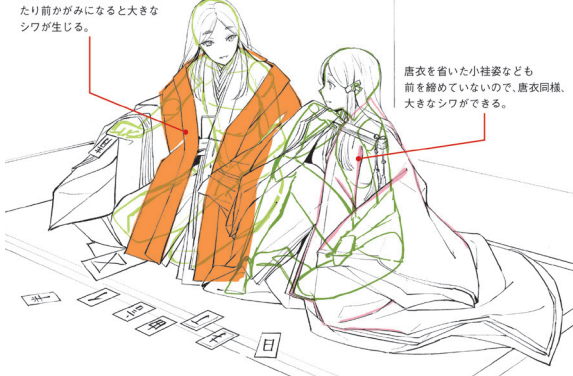


和装の描き方 和装イラスト完全マスターブック 正誤表

2015年7月29日

ページ	誤	正
P.72	<p>大きな四角い布を、肩からかけたような状態なので、座ったり前かがみになると大きなシワが生じる。</p>  <p>唐衣を着いた小娃姿なども、前を締めていないので、唐衣同様、大きなシワができる。</p> <p>平安時代の遊び 平安時代に女性や子供が漢字の知識を競う「偏つぎ」という遊びがあったといわれていますが、ゲームなのか、教育なのか、詳しいルールなどの実態は不明です。</p>	<p>大きな四角い布を、肩からかけたような状態なので、座ったり前かがみになると大きなシワが生じる。</p>  <p>唐衣を着いた小娃姿なども、前を締めていないので、唐衣同様、大きなシワができる。</p> <p>平安時代の遊び 平安時代に女性や子供が漢字の知識を競う「偏つぎ」という遊びがあったといわれていますが、ゲームなのか、教育なのか、詳しいルールなどの実態は不明です。 上の絵はゲームとしての偏つぎの想像図で、偏と旁<small>つくり</small>を合わせて漢字を作っています。</p>
P.97	<p>赤ちゃんの着物 赤ちゃんの着物は、衿のところに腰紐を縫い付けておいて、脇の穴（身八つ口みたいなもの）に通して着せます。 反物一幅ぶんしかない「一つ身」で、背縫い（背の目）がないのは宗教的に無防備とされ、母親が「背守」というお守りを縫います。</p>	<p>赤ちゃんの着物 赤ちゃんの着物は、立って歩き始めたら「肩揚げ・腰揚げ」をしてやり、子供のうちは衿のところに腰紐を縫い付けておいて、脇の穴（身八つ口みたいなもの）に通して着せます。 赤ちゃんのまだ反物一幅分しかない「一つ身」仕立ては、背縫い（背の目）のないことが宗教的に無防備とされ、お守りに母親が「背守り」を縫います。</p>
P.103	<p>リアル史実系 ～容姿も独特なものはなく、武器も持たない。</p>	<p>リアル史実系 ～容姿も武器も、一見して忍者とわかるようなあからさまな物ではない。</p>